

提出順	9	発言順	12	令和 5 年 11 月 29 日
				午前・午後 2 時 35 分受領

(2 枚中 No. 1)

令和 5 年 11 月 29 日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input checked="" type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	会計年度任用職員制度の問題点を直視し 公(安曇野市)からまっとうな雇用を		

質問の要旨(具体的に記載してください)

人口減少・少子高齢化等の社会経済情勢の変化のなかで、行財政基盤の強化と効率化を目的として平成の大合併が推進され、その流れの中で安曇野市も誕生した。財政安定に向けて人件費を削るために正規職員を減らし、かわりに非正規職員を採用してきた。

2005 年の合併当時、安曇野市の正規職員 860 人に対し非正規職員は 545 人。2009 年には男女別のデータで非正規職員は男性 73 人・女性 559 人、合計 632 人に増加。事務職員や保育士、教員、カウンセラーや相談員、図書館司書、調理員などが非正規に置き換わってきたが、増えた非正規職員のほとんどが女性である。「官製ワーキングプア」は女性の労働問題として社会問題化するなか、今年度の正規職員は 735 人まで減り、非正規職員は 726 人へと増加しており、住民サービスの低下につながりかねない状況が見える。

自治体における非正規職員の任用適正化・処遇改善等を目的として、2020 年度から会計年度任用職員制度が導入されたが、残念ながらその目的が達成されたとは言い難い。住民サービスを支える非正規職員の「まっとうな雇用」を実現していかないことには、住民の暮らしを守ることはできないという観点から、以下に質問する。

- 1、住民サービスを担う市政の支え手である非正規職員(会計年度任用職員)の「まっとうな雇用」を実現していかねば、住民の暮らしを守ることはできないという観点について、市長の見解は

